

# 重点目標1 看護職一人ひとりのウェルビーイングの向上

## 重点事業1-1 全ての看護職が安心して働ける職場環境の普及・促進

### 事業内容

1. 看護職のウェルビーイング向上に向けた理解促進と実践支援
2. ハラスメント防止対策の推進
3. 次世代への看護の魅力発信等の広報活動の推進

### 事業概要

#### 1. について

人々がその人らしく生涯を過ごす事が出来る社会の実現のためには、看護職自身が働くことで得られる充実感や幸せを実感できるウェルビーイングの向上が重要である。ライフステージやライフスタイルが変化してもキャリアを継続できる環境の整備、働きがいを実感できる職場の確保、主体的に選択出来る多様で柔軟な働き方について継続的に情報を発信していく。

#### 2. について

ハラスメントは、職員のモチベーション低下、離職率の上昇、組織のイメージの低下など、多方面でのリスクが生じるため、全ての看護職が安心して働き続けられる職場構築に向けてハラスメント防止対策に取り組む。

#### 3. について

看護職の確保に向け、看護の価値や専門性を広く社会に伝え、看護職に対する社会的信頼や共感を得ることは重要である。そのため、看護の魅力や意義を次世代に伝える広報活動の推進は急務である。

### 実施内容

#### 1. 看護職のウェルビーイング向上に向けた理解促進と実践支援

- 1) 情報提供と啓発活動の展開
- 2) 看護職の声を反映した体制改善のための意見交換会の開催
- 3) 子育て・介護と仕事の両立ができる働き方への移行支援

#### 2. ハラスメント防止対策の推進

- 1) ハラスメント対策のための実態調査と研修実施

#### 3. 次世代への看護の魅力発信等の広報活動の推進

- 1) 魅力発信のイベントの内容が広く伝わるようにSNSを効率的に活用
- 2) 住民、学生等への広報（看護への道・看護の日・看護の出前授業等）

### 目標値

#### 1. 看護職のウェルビーイング向上に向けた理解促進と実践支援

- ・意見交換会の参加30施設 参加人数50人
- ・参加後のアンケートで「理解出来た」「活用出来る」の回答が80%以上

#### 2. ハラスメント防止対策の推進

- ・研修参加施設 50施設以上 参加人数70人以上
- ・参加後のアンケートで「理解出来た」「活用出来る」の回答が80%以上

#### 3. 次世代への看護の魅力発信等の広報活動の推進

- 1) 各イベント参加者前年比5%増 参加者満足度90%以上

## 重点目標 2 持続可能な看護提供体制の構築

### 重点事業 2-1 地域における看護職の確保と活躍促進

#### 事業内容

##### 1. ナースセンターの機能強化

#### 事業概要

##### 1. について

ナースセンターの事業については、施設訪問・求職相談を中心に求人者と求職者のマッチングを強化している。多様な働き方の導入の説明、LINEによる広報等で、とどけるん登録者の就職を前年比2倍に伸ばしてきた。しかし、ナースセンターの役割や届け出制度について理解できていない施設もまだ多く存在する。ナースセンター周知を強化し、登録施設及び登録者の増加をさらに進め、地域に密着した事業展開を行っていく必要がある。

ハローワークとの共催による看護補助者の相談数は増加傾向にあるが、令和7年度の「ナースセンターによる看護補助者の就労に向けた研修」(日本看護協会主催)の受講希望者は、50%には満たっていない。更に、研修受講率は60%程度に留まっていることから、受講にいたらない要因を探り、受講率を高めるなど、ハローワークと連携し就業へつないでいく。

看護職キャリア情報と研修受講履歴などを簡単に一元管理したナース・ポータル・サイト(NuPS)は、令和8年度秋ごろに運用開始予定である。国の動向に合わせ始動を行うが、内容については看護学生も含め長崎県下の看護職、関連施設に広報していく。

#### 実施内容

##### 1. ナースセンターの機能強化

- 1) 新規および未登録求人施設に向けた広報活動
- 2) 行政との連携による看護職の就業促進
- 3) ハローワークとの連携による看護補助者の就業促進
- 4) NuPSの周知と活用

#### 目標値

##### 1. ナースセンターの機能強化

- 1) 新規および未登録の求人施設への訪問前年比10%増
- 2) 各施設のホームページに「eナースセンター」リンク5件以上
- 3) 商業施設での広報活動3か所以上
- 4) ナースセンターによる看護補助者の就労に向けた研修受講率が希望者の70%以上
- 5) NuPSの運用 についての説明会10回以上

※NuPS…ナース・ポータル・サイト

## 重点目標 2 持続可能な看護提供体制の構築

### 重点事業 2-2 業務効率化における看護DX等の推進

#### 事業内容

##### 1. ICT活用に関する研修・情報共有

#### 事業概要

##### 1. について

2040年に向けて生産年齢人口の減少に伴う人的制約の中で、質の高い看護を提供し続けるためには、看護業務効率化の一端を担うデジタル技術の活用は不可欠である。昨年2回目の交流会で看護DXの導入・活用について情報を得た。看護職が看護の専門性を十分に発揮し、本来のケアに集中できる環境を整えるため、今年度も引き続き看護DXの普及推進にむけて情報提供を行う。また、在宅医療の現場等において診療の補助行為としてのD to P with N（患者が看護師という場合のオンライン診療）の提供体制について情報提供する。

#### 実施内容

##### 1. ICT活用に関する研修・情報共有

- 1) 医療施設での看護DX実践事例の紹介と意見交換会の実施
- 2) 地域でのD to P with Nの実際と情報発信

#### 目標値

##### 1. ICT活用に関する研修・情報共有

- ・意見交換会の参加施設30施設以上 参加人数40人以上
- ・参加後のアンケートで「参考になった」80%以上

## 重点目標 3 より高い自律性を持った専門職としての活躍

### 重点事業 3-1 看護におけるマネジメント力の醸成

#### 事業内容

1. 新たな認定看護管理者教育課程の導入に向けた体制整備と推進
2. 特定行為研修のさらなる受講促進と修了者の活躍推進

#### 事業概要

##### 1. について

新たな認定看護管理者教育課程の導入に向け、教育機関としての指定申請に必要な体制整備を進めるとともに、課程の内容や受講方法に関する情報を県内医療機関等へ広く周知し、受講につながるよう取り組む。これにより、看護管理者をめざす看護職が学びやすい環境を整え、看護管理を担う人材の育成を支援することで、県内の看護管理能力の向上に寄与することをめざす。

##### 2. について

看護師が限られた医療人材で効率的に質の高い医療を提供していくためには、医師の包括的指示等の活用を推進できる特定行為研修修了者の存在意義は高い。また看護する側にとっては、患者の状態変化にタイムリーに対応・相談出来るため心理的安全性の確保にもつながる。今後もより一層受講促進にむけ特定行為研修修了者の必要性の認識と認知度を上げるための活動に取り組む。また、取得する側も雇用する側も必要性の認識はあっても、人材不足により促進できず足踏み状態となっていることから、研修受講の場の提供および研修修了後の活躍の場の整備に向けて、積極的に関係団体の理解と協力に向けた活動に取り組む。

#### 実施内容

##### 1. 新たな認定看護管理者教育課程の導入に向けた体制整備と推進

- 1) 教育機関としての指定申請に必要な情報収集と体制整備
- 2) 看護管理研修(付加研修含む)及び新課程の内容や受講方法の周知と受講促進に向けた環境整備

##### 2. 特定行為研修のさらなる受講促進と修了者の活躍推進

- 1) 看護管理者等と特定行為研修修了者との意見交換会の開催
- 2) 特定行為研修修了者の活躍の広報

#### 目標値

##### 1. 新たな認定看護管理者教育課程の導入に向けた体制整備と推進

- ・ 指定申請に向けた体制整備の基礎的準備の完了と新課程の受講希望状況の把握
- ・ 県内医療機関への周知 90件、受講希望者の把握（回答医療機関 75施設以上）

##### 2. 特定行為研修のさらなる受講促進と修了者の活躍推進

- ・ 看護管理者等と特定行為研修修了者との意見交換会への参加施設20施設以上、参加人数40人以上

## 重点目標 4 地域における看護の拠点の確保

### 重点事業 4-1 地域包括ケアシステムの深化のための職能間の連携強化

#### 事業内容

##### 1. 職能間の連携推進と多職種連携の強化

#### 事業概要

##### 1. について

地域完結型へと治療・療養の場が移行する中で、質の高い看護を継続的に提供する為には、地域における看護機能が連携し合い、地域全体で人々の健康と療養を面で支えるセーフティーネットとなることが重要となる。地域のあらゆる場における看護の役割発揮・機能強化を図るとともに、地域の看護職がつながり、切れ目のない看護を提供するため、施設・行政等の垣根を越えた取り組みを推し進める。併せて、多職種の専門性と医療とを結び、多職種連携のキーパーソンとしての役割を十分に発揮できるように取り組む。

#### 実施内容

##### 1. 職能間の連携推進と多職種連携の強化

- 1) 関係団体との情報共有及び交流の場の提供

#### 目標値

##### 1. 職能間の連携推進と多職種連携の強化

- 1) 多職種を含めた交流会等の開催（支部での開催） 3回以上

## 重点目標 4 地域における看護の拠点の確保

### 重点事業 4-2 災害発生時及び感染症拡大時における看護提供体制の整備

#### 事業内容

1. 発災時、感染症拡大時の看護提供体制の整備
2. 長崎県看護協会のBCP(事業継続計画)の運用

#### 事業概要

##### 1. 2. について

地震、大雨、大火災等の自然災害、コロナ等の新興感染症に対する危機管理のための看護提供体制の整備は、喫緊の課題にも拘らず、十分とは言えない状況である。新たな災害支援ナース養成研修修了者は3年間で105名となった。令和8年度も引き続き、県行政、日本看護協会、災害支援ナース等と連携し、大規模自然災害の発生時や新興感染症の発生・蔓延時に、必要なところへ適切な支援を安定的に届けられるよう、さらなる体制整備に取り組む。

又、昨年策定したBCP計画の効率的な実施、実現を図るために、協会内での周知・訓練を行い、業務環境の最適化を検討していく。

#### 実施内容

1. 発災時、感染症拡大時の看護提供体制の整備
  - 1) 災害支援ナース養成研修の実施
  - 2) 災害支援ナース養成指導者の育成
2. 長崎県看護協会のBCP(事業継続計画)の運用
  - 1) BCPの周知、訓練の実施

#### 目標値

1. 発災時、感染症拡大時の看護提供体制の整備
  - 1) 災害支援ナース名簿登録者数 130名

## 基盤強化事業

### 事業内容

1. 会員の確保
2. 健全運営の強化

### 事業概要

#### 1. について

近年の会員数の減少に伴い、少子化が進む中、更なる会員減は一定程度不可避である。令和7年度は、看護協会の魅力発信のためのSNSの立ち上げ及び業務案内の改定を行った。また、妊娠中、育児休業中の看護職を対象にした「輝け！ママ&パパ応援セミナー」を開催、会員・非会員に対し、看護の魅力と継続的な働き方への支援などにも取り組んだ。令和8年度においても引き続き、SNSによる情報発信、次世代を担う看護師等学校養成所との連携による事業推進を図ることにより、新入会員を増やし、更に会員が継続して加入し続けるために魅力ある看護協会作りを看護管理者等と協働して取り組む。

#### 2. について

令和7年の改正労働施策総合推進法によりカスタマーハラスメント対策が義務付けられ、組織的な対応が必要なことから、看護職等への周知、研修などに取り組み、コンプライアンスの遵守に努めていく。

### 実施内容

#### 1. 会員の確保

- 1) SNS及びマスコミを活用した広報周知
- 2) 看護師等学校養成所教員や施設看護管理者の協力のもと、看護協会の事業、活動、魅力について理解促進を図るために出前等による説明会の実施

#### 2. 健全運営の強化

- 1) カスタマーハラスメントに対する意識向上を図るための研修の実施

### 目標値

- ・ 令和8年度末の会員数 9,400人